

プレスリリース

杉本博司 アートの起源 [歴史]

2011 年 5 月 29 日（日）－ 2011 年 8 月 21 日（日）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

展覧会に関するお問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミモカ美術振興財団

担当＝松村円、国枝かつら

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

tel:0877-24-7755 / fax:0877-24-7766

e-mail:mimoca_info@mimoca.org

【展覧会概要】

展覧会名： 杉本博司 アートの起源 [歴史]

Hiroshi Sugimoto ORIGINS OF ART [History]

会 場： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

会 期： 2011 年 5 月 29 日（日）－ 2011 年 8 月 21 日（日）（85 日間） 会期中無休

開館時間： 10 時－18 時（最終入館 17 時 30 分）

主 催： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助 成： 財団法人三菱 UFJ 信託地域文化財団

協 力： 公益財団法人小田原文化財団、ギャラリー小柳

出品協力： IZU PHOTO MUSEUM、公益財団法人京都服飾文化研究財団

観覧料金： 一般 950 円 [760 円] 大学生 650 円 [520 円] （常設展観覧料を含む）

※ [] 内は前売り及び 20 名以上の団体料金

年間パスポート 2,500 円 （常設展観覧料を含む）

※2011 年 11 月 6 日までの「杉本博司 アートの起源」会期中、お一人につき何回でも使用可能

高校生以下または 18 歳未満・丸亀市内在住の 65 歳以上・各種障害者手帳お持ちの方は無料

6 月 11 日（土）はコーポレーション・デイ（企業協賛日）のため観覧無料

前売券販売場所：

【丸亀】あーとらんどギャラリー（0877-24-0927） オークラホテル丸亀（23-2222） おみやげ SHOP ミュ－（22-2400） きままや（22-9361）

電子チケットぴあ[サークルK・サンクス、セブンイレブン]：P コード 764-161（歴史）、764-163（年間パスポート）

【展覧会趣旨】

一年まるごと杉本博司

「杉本博司 アートの起源」第 3 弾が始まります。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（M I M O C A（ミモカ））では、1 つの美術館で一人のアーティストについて、一年にわたり 4 つの展覧会を次々に開催するという画期的なプロジェクト「杉本博司 アートの起源」を 2010 年 11 月 21 日より開始しています。本年 2 月 20 日まで開催した初回の「科学」展は 17,653 人（1 日平均 208 人）の来館者を迎え、5 月 15 日に終了した「建築」展は 12,281 人（1 日平均 173 人）と好評を博しています。

「杉本博司」とは？

杉本博司（1948 年東京生まれ）は、ニューヨークを拠点に活動する現代美術家です。中央に水平線をはさみ空と海が上下に半分ずつ写された《海景》という写真作品が特によく知られています。「原始人の見ていた風景を、現代人も同じように見ることは可能か。」という考えをもとに制作されたこの作品は、世界中で絶賛されました。このほか、博物館のジオラマ展示を撮影し、写真の性質を利用していかにも生きているように表

現してみせた《ジオラマ》シリーズや、映画館のスクリーンに向かってカメラを構え、映画のはじめから終わりまで1本分の光を一枚の写真に収めた《劇場》シリーズ、京都の三十三間堂で1001体の千手観音を撮影した《仏の海》など、写真というメディアを追究し、考え抜かれたコンセプトと最高の技術によって生み出した美しくも力強い杉本の表現は、人々を魅了し続けてきました。2009年には世界の優れた芸術家に贈られる高松宮殿下記念世界文化賞を「絵画」部門で受賞、「写真」が絵画芸術として認められた記念すべき出来事として注目を集めました。

この奥深い杉本芸術の全貌を探り、余すところなく堪能するために、内容の異なる4つの展覧会を開催いたします。

「アート の 起源」 とは？

“今、読めない先を見るためには、振り返らなければならない時がきたのだ。”

いつの時代も優れたアート（芸術）は未来へつながる新しい道を切り開いてきました。けれどもこの悩める時代、アートはむしろ過去を振り返らなければならない、と杉本は考えています。アートの起源を辿ることで見えてくるもの、それはとりもなおさず人間の意識の起源ではないか、そこにこそ今を生きるヒントがあるのではないかと言うのです。

意識の起源をさかのぼった杉本は、私たちの心の最も奥底に根ざすものとして4つのキーワードを見つけました。科学、建築、歴史、宗教。これらが4つの展覧会のテーマとなって、「杉本博司 アート の 起源」は開催されます。

第3弾は「歴史」

「科学」「建築」と続いてきた「アート の 起源」、第3回目の展覧会は「歴史」です。本展では、蠟人形となった歴史上の人物を撮影した《肖像写真》や、ネガ・ポジ方式を発明したウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットが残した紙ネガを杉本自身がプリントした《光子的素描》、社会との関わりのなかで変化してきた衣服のうち20世紀の洋服を撮影し、近代とは何であったかを問いかける《スタイアライズド スカルプチャー》など、杉本の作品によってさまざまな歴史が繰り広げられます。圧倒的な現実感を持つ写真が提示する歴史を追ううちに、見る人は歴史と写真の関わりについて思いを巡らせ、さらに歴史とは何か、どのように人類の発展に寄与したかについても考えることとなるでしょう。

【主な出品作】（予定）

《肖像写真》

実在の人物を描いた肖像画をもとに作成された蠟人形を撮影した作品です。実際の被写体は異なる技法で幾重にも複製が重ねられたものでありながら、まるで生きている人物を撮ったかのようなリアリティを持って見る者に迫ります。本展では、レオナルド・ダ・ヴィンチの《最後の晩餐》をもとにつくられた蠟人形を撮影した作品を出品。さらにエリザベス1世やナポレオン・ボナパルト、昭和天皇などのポートレートが一堂に会します。

《ファースト ビジターズガイド》

多様な生物が存在したカンブリア紀の海中の様子や人類の進化の各過程、原爆、その後の人類のいない自然など、蠟人形を配した場面セットや博物館のジオラマ展示を撮影したものでありながら、写真の性質を利用

していかににも実際の場面であるかのように見せた作品が、一つの桐箱に一点ずつおさめられています。ずらっと並べられた桐箱を順番に覗き込んでいくと地球の歴史が分かり、初めて地球を訪れる地球外生命体に向けた旅行ガイドとなるよう意図されています。

《スタイライズド スカルプチャー》

京都服飾文化研究財団が所蔵する貴重な服飾資料から、第1次大戦後のマドレーヌ・ヴィオネ以降、三宅一生や川久保玲、山本耀司といった現代までの衣服を、ファッションの歴史を、人体とそれを包む人工皮膚を近代彫刻として見るという視点から撮影した日本初公開の作品です。時代に呼応した特徴を持つ衣服をとらえた作品は空間を取り囲むように展示され、社会の変化が一望の下に見渡せる場を現出させます。

《光子的素描》

写真の先駆者の一人であるウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットは、19世紀前半に感光剤を塗布した紙を露光させてネガ像を得ることに成功し、1枚のネガから複数のプリントを得られるネガ・ポジ法を発明します。本シリーズは、そのタルボットが残した初期のオリジナル紙ネガを杉本がプリントし、独自に調色して作品としたものです。

※出品作品例の広報用画像をご希望の際は、データにてお送りいたしますので、担当までメール（mimoca_info@mimoca.org）にてお問い合わせください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。

【関連プログラム】

■対談

深井晃子（公益財団法人京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター）×matohu デザイナー 堀畑裕之 関口真希子

* 詳細は決まり次第ホームページ（<http://mimoca.org>）でお知らせいたします。

■キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（松村円、国枝かつら）が展示室にて展覧会の見どころをお話します。

日時：会期中の第2土曜日および毎日曜日（ただし他の関連プログラムが開催される日をのぞく）

各日 14:00-

参加無料、ただし展覧会チケットが必要です。

申込み不要、当日1階受付前にお集まりください。

■地域連携プログラム 「アートの起源サポーター」募集

一年間にわたって一人の作家を紹介するという画期的な取り組みを進めるにあたり、展覧会を応援いただく「丸亀市民特別サポーター」と「アートの起源サポーター」を募集しております。ご応募いただいた方には杉本博司作品《放電場 128》（2009）をあしらったサポーター限定バッジと、特製「千客万雷（せんきやくばんらい）カード」をお渡しします。特別割引券となっているこのカードを友人・知人の方に配布いただき、より多くの方に本展をご覧いただけるよう周知にご協力いただきます。この地域連携プログラムを通して、本展を基点に人と人との交流の場がさらに広がっていくことを企図しています。

1. 丸亀市民特別サポーター

【応募資格】丸亀市内在住・通勤・通学の方

※MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド）会員の方に限り丸亀市外在住の方もご応募いただけます。

【募集人数】110人 ※定員間近

【応募期間】募集中（先着順・定員に達し次第終了）

【特典】

1. 会員証として杉本博司作品《放電場 128》をあしらった丸亀市民特別サポーター限定バッジの贈呈
2. 観覧料 20%割引
3. 展覧会カタログ 20%割引
4. プレビューイベントまたは内覧会にご招待（同伴者1名）
5. 千客万雷カードを配布した100名全員がご来館されると、もれなく杉本博司サイン入り展覧会カタログを贈呈
6. 千客万雷カード持参の方がご来館されると、1枚につき1口として、「杉本博司 アートの起源」関連景品が当たる「サポーター大抽選会」に自動的に応募（前期5月15日までの抽選結果は5月15日に発表。後期5月29日～11月6日の景品や抽選日等の詳細は後日発表いたします）。

【応募方法】応募用紙に必要事項を記入いただき、美術館受付にてご入会ください。FAX（0877-24-7766）、郵送でもお申し込みいただけます。後日サポーター限定バッジと千客万雷カードをご送付いたします。

2. アートの起源サポーター

【応募資格】どなたでもご入会いただけます。

【応募期間】募集中（千客万雷カードがなくなり次第終了とさせていただきます。）

【特典】

1. 会員証として杉本博司作品《放電場 128》をあしらったサポーター限定バッジの贈呈
2. 観覧料 20%割引
3. 展覧会カタログ 10%割引
4. 千客万雷カード持参の方がご来館されると、1枚につき1口として、「杉本博司 アートの起源」関連景品が当たる「サポーター大抽選会」に自動的に応募（前期5月15日までの抽選結果は5月15日に発表。後期5月29日～11月6日の景品や抽選日等の詳細は後日発表いたします）。

【応募方法】応募用紙に必要事項を記入いただき、美術館受付にてご入会ください。

■コーポレート・メンバーシップ・プログラム

「杉本博司 アートの起源」の会期中、毎月第2土曜日に実施する「コーポレーション・デイ」にご協賛いただける企業（法人及び個人事業主）を募集します。ご協賛企業のサポートで地域住民の皆様を展覧会にご招待いただく「コーポレート・メンバーシップ・プログラム」は、企業の地域貢献活動を同時にアピールいただける魅力的なプログラムとなっております。

〈コーポレーション・デイとは？〉

4社または4口以上のコーポレート・メンバー様にご協賛いただくことによって、毎月第2土曜日に地域の方々を当館にご招待するという地域連携プログラムです。ご来館の方には当日無料で展覧会をご覧ください。

【ご協賛金】1口5万円

【特典】

1. 代表者を含む5名様を特別内覧会へご招待
2. 当館公式ウェブサイト及びメールニュース等での告知
3. 協賛看板の設置：コーポレーション・デイ当日、美術館1階ゲートプラザに設置する看板に社名（またはロゴ）を掲示。4口同時にお申込みの場合は1社にて専有。
4. 広報媒体の配付：コーポレーション・デイ当日、来館者全員に広報媒体を配付。

【申込方法】電話（0877-24-7755）またはメール（mimoca_info@mimoca.org）でお申込ください。7月以降について先着順にてご応募受付中です。

【留意事項】

1. 協賛金はコーポレーション・デイにご来館いただいたお客様の観覧料及び施設運営費に充填させていただきます。
2. コーポレーション・デイの実施には合計4社または4口以上のお申込みが必要です。

【実施状況】

2010年12月11日（終了）	ご協賛：四国化成工業株式会社、平和写真印刷株式会社
2011年1月8日（終了）	ご協賛：社団法人香川県資源研究所
2011年2月12日（終了）	ご協賛：協和化学工業株式会社
2011年4月9日（実施決定）	ご協賛：秋山興産株式会社
2011年5月14日（実施決定）	ご協賛：大倉工業株式会社、今治造船株式会社
2011年6月11日（実施決定）	ご協賛：おみやげSHOP ミュー、株式会社ベネッセホールディングス、 社会福祉法人 禱友会 紅山荘

2011年7月9日 募集中

2011年8月13日 （実施決定）

※先着順にてお受付いたします。規定口数（5口）に達し次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。

■サポーター前期大抽選会 当選者発表

1等 ベネッセハウス・パーク ペア宿泊券（1泊朝食付き、1年間有効）

※ベネッセアートサイト直島ご提供

香川県丸亀市在住 Y・M 様

香川県高松市在住 H・K 様

2等 「杉本博司 アートの起源」限定干菓子五輪塔付きランチセット（カフェレスト MIMOCA）

香川県丸亀市在住 M・U 様

3等 「杉本博司 アートの起源」限定干菓子五輪塔とほうじ茶オレセット（カフェレスト MIMOCA）

香川県丸亀市在住 M・T 様

4等 「杉本博司 アートの起源」特製ポスター

香川県三豊市在住 S・I 様
香川県高松市在住 Y・F 様

5 等 「杉本博司 アートの起源」特製ポストカードセット

香川県丸亀市在住 M・T 様
香川県丸亀市在住 Y・T 様
兵庫県神戸市在住 S・M 様
大阪府大阪市在住 K・K 様

〔同時開催 常設展〕

猪熊弦一郎展

日 時：2011年5月29日（日）－ 2011年8月21日（日）

〔今後の開催予定〕

杉本博司 アートの起源〔宗教〕 2011年8月28日（日）－11月6日（日） 会期中無休

【作家略歴】

杉本博司 / Hiroshi Sugimoto

〈略歴〉

1948 年 東京都に生まれる
1970 年 立教大学経済学部卒業
1972 年 ロサンジェルスのアートセンター・カレッジ・オブ・デザイン卒業
1974 年 ニューヨーク移住
1988 年 毎日芸術賞受賞
2001 年 ハッセルブラッド国際写真賞受賞
2009 年 高松宮殿下記念世界文化賞受賞
2010 年 秋の紫綬褒章受賞

ニューヨーク在住

〈主な個展〉

1995 年 「杉本」(メトロポリタン美術館、ニューヨーク／世界巡回)
2000 年 「杉本 肖像写真」(ドイツ・グッゲンハイム、ベルリン／グッゲンハイム美術館、ビルバオ／ソロモン・R・グッゲンハイム美術館ソーホー、ニューヨーク)
2001 年 「杉本博司 時の建築」(ブレゲンツ美術館、ブレゲンツ)
2003 年 「杉本博司 建築」(シカゴ現代美術館、シカゴ)
2004 年 「杉本博司 大ガラスが与えられたとせよ」(カルティエ現代美術財団、パリ)
2005-07 年 「杉本博司 時間の終わり」(森美術館、東京／「杉本博司」と題しアメリカ巡回)
2006 年 「観念の形 数理模型」(アトリエ・ブランクーシ ポンピドー・センター、パリ)
2008-09 年 「杉本博司 歴史の歴史」(金沢21世紀美術館、金沢／国立国際美術館、大阪)
2009 年 「杉本博司ー光の自然」(IZU PHOTO MUSEUM、三島)

ほかにグループ展多数出品

〈主な所蔵先〉

ニューヨーク近代美術館 (MoMA) (ニューヨーク)
メトロポリタン美術館 (ニューヨーク)
グッゲンハイム美術館 (ニューヨーク)
テートギャラリー (ロンドン)
ポンピドー・センター (パリ)
東京国立近代美術館
東京都写真美術館
国立国際美術館 ほか多数

〈主な著作等〉

・著作

『苔のむすまで』(新潮社、2005 年)

『現な像』(新潮社、2008 年)

・作品集

『TIME EXPOSED HIROSHI SUGIMOTO』(クンストハレ・バーゼル、1995 年)

『SUGIMOTO PORTRAITS』(グッゲンハイム美術館、2000 年)

『HIROSHI SUGIMOTO: ARCHITECTURE OF TIME』(クンストハウス・ブレゲンツ、2002 年)

『Hiroshi Sugimoto: Architecture』(シカゴ現代美術館、2003 年)

『Hiroshi Sugimoto CONCEPTUAL FORMS』(カルティエ現代美術財団、2004 年)

『HIROSHI SUGIMOTO』(森美術館、2005 年)

『歴史の歴史』(新素材研究所、2008 年)

『杉本博司ー光の自然』(IZU PHOTO MUSEUM、2009 年)